

イベントを通じて広める 交通の輪

自転車大国のさいたま市。今年さいたま市では自転車
活躍する、さまざまなイベントが開催されました。
それらのイベントを通じて、人中心の都市のにぎわいの
体験や、魅力を伝えていきたいと思っています。
今回は、その中から「さいたまカーフリーデー2013」と
「さいたまクリテリウム」についてご紹介します。

まち・地球・暮らしを考える

さいたまカーフリーデー2013

2013年9月21日(土)・22(日)の2日間、大宮駅西口・鐘塚公園
および周辺道路で行われた「さいたまカーフリーデー2013」。
自動車に過度に依存しない環境づくりを目指し、市民の皆さん
に自動車のないまちを体験してもらうことで、「車」の使い方を考える
きっかけづくりとしていただく啓発イベントです。周辺道路を車両
通行止めとして、まちに人中心のにぎわいを創り出すなど、道路空間
の利用方法や、安全・快適に回遊できる歩行空間について体験
してもらいました。

さまざまな催しを体験
しながら、大宮駅西口
周辺をゆっくり散歩
することができたよ!



さいたまカーフリーデー2013では、市内5か所のサイクルポートを巡る
「コミュニティサイクル スタンプラリー」を行いました。当日参加していただいた方の声をご紹介します!



参加者の声

<p>井口さん(女性) <small>お住まい 岩槻区</small></p> <p>普段車では通らないような大宮の細い道を通って、新鮮に感じました。車に依存しない社会を目指して、さまざまな取り組みをしていると聞いて、車を推進するよりも環境のためにも私たちの暮らしのためにもよいと思いました。</p> <p>コミュニティサイクルでは、鉄道で行きづらい場所や名所などに行ってみたいですね。実際に走ってみて、市内にはでこぼこした道があったのが気になりました。お金のかかることですが、道路の整備を進めてほしいと思います。</p>	<p>豊田さん(男性) <small>お住まい 中央区</small></p> <p>コミュニティサイクルに乗るのは初めてだったので、タイヤが小さめでこぎやすかったですね。まち乗りがピッタリだと思いました。電車で出かけた先にコミュニティサイクルがあれば使いたいです。氷川神社や盆栽美術館に行きたいです。</p> <p>残念ながら、家の近くにサイクルポートがないので、普段使い…とまではいかないですが、今後設置場所が増えればもっと使う機会が増えると思います!</p>	<p>前川さん(男性)</p> <p>普段は自分の自転車に乗っているのですが、最近まちをよく見ていたので乗ってみたいと思い体験しにやってきました。</p> <p>自動車に依存しない社会ですか…環境にも健康にもよさそうなので、よい取り組みだと思います。</p> <p>コミュニティサイクルは、出先があればぜひ使いたいですね。サイクルポートがまだ少ないので、認知度が低いのかもしれない。ぜひもっとサイクルポートを増やしてほしいと思います。</p>
--	---	--

世界初「ツール・ド・フランス」の名を冠したクリテリウム・レース

さいたまクリテリウム by ツール・ド・フランス

2013年10月26日(土)にさいたま新都心を舞台に開催された、「さいたまクリテリウム by ツール・ド・フランス」。当日は、クリストファー・フルーム(イギリス、スカイプロサイクリング)や、ルイ・コスタ(ポルトガル、モビスターチーム)などのトップスターが
出場し、あいにくの天気にもかかわらず約20万人の観客が訪れました。レースは今年の7月に行われたツール・ド・フランスの個人総合優勝者クリストファー・フルームが独走状態で優勝。目の前で繰り広げられた、スピード感あふれるレースに、約20万人を超える大観衆が沸いた熱い1日となりました。

さいたま市ではこんなイベントも積極的に
行っているのね!



都市交通の korekara

さいたま市の都市交通の課題は、自動車交通を担う道路の不足、環境への負荷、自転車利用者や歩行者の安全確保、また、公共交通機関の利便性が発揮できていないことなどです。そこでさいたま市は、自動車に過度に依存しない交通体系の実現を目指し、現在、さまざまな交通施策に取り組んでいます。

そのひとつが、今回ご紹介した「コミュニティサイクル」です。移動を自動車に頼るのではなく、まち中の近距離については、徒歩や自転車を利用していただくことが目的です。

市民の皆さんに、それぞれの役割に応じた移動手段を賢く利用していただくことで、誰もが移動しやすい社会を目指して、これからも都市局は皆さんの情報提供や事業を進めていきます。



都市交通のkorekaraチェック

- 1 活力ある都市活動を支える交通体系づくり
- 2 便利で快適な公共交通
- 3 地区の特性に応じたみちづくり
- 4 効果的な道路整備と交通需要管理
- 5 市民の皆さん等との協働による交通体系づくり

さいたま市は自転車のネットワークを
考えはじめているよ!



(さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画より)